



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経理局経理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福

(氏名) 井上 良次

(氏名) 市川 健治

TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,055	0.9	279	41.1	354	29.5	196	10.8
2019年3月期第1四半期	6,003	3.0	197	69.5	273	62.6	177	59.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 83百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 292百万円 (48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	89.53	—
2019年3月期第1四半期	80.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	45,180	33,834	73.2
2019年3月期	46,857	34,118	71.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 33,082百万円 2019年3月期 33,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,360	1.3	1,760	3.9	1,900	4.0	1,230	1.3	561.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,240,000 株	2019年3月期	2,240,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	47,754 株	2019年3月期	47,754 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,192,246 株	2019年3月期1Q	2,192,345 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、所得や雇用環境の改善はあるものの、通商問題や海外経済の不確実性の高まりにより個人消費及び景気は依然不透明な状況が続いています。

そのような状況の中、主力事業である放送事業収入は、テレビスポットの福岡地区投下量が前年を上回った影響やラジオのタイム収入が好調だったこともあり増収となりました。また、システム関連事業収入も医療分野の受注が好調なこともあり前年を大幅に上回りましたが、その他事業収入は大型イベントがなく前年を大幅に下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は60億55百万円（前年同期比 0.9%増）で増収となり、営業利益は2億79百万円（前年同期比 41.1%増）、経常利益は3億54百万円（前年同期比 29.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億96百万円（前年同期比 10.8%増）でいずれも増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入42億65百万円（前年同期比 1.6%増）、営業利益3億3百万円（前年同期比 29.1%増）となりました。

テレビ部門は、収入37億55百万円（前年同期比 1.2%増）となりました。タイム収入は0.7%減となりましたが、主力商品であるスポット収入は2.5%増となりました。業種別では、食品、化粧品・洗剤・トイレタリなどが落ち込んだものの、薬品、その他のサービス業が伸びました。

ラジオ部門は、収入5億9百万円（前年同期比 5.1%増）となりました。スポット収入が6.1%減となったものの、発ネット番組の増加によりタイム収入が11.6%増となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入11億42百万円（前年同期比 48.0%増）、営業損失59百万円（前年同期は営業損失1億44百万円）となりました。

ソフトウェア開発および機器販売が医療分野で大幅に増加し増収となりました。利益面では、受注が好調で前年同期より改善しましたが営業損失となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億65百万円（前年同期比 2.5%減）、営業利益2億77百万円（前年同期比 3.5%減）となりました。

テナント収入は前年並みでしたが、不動産仲介料の減少により減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入3億82百万円（前年同期比 49.9%減）、営業損失9百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

催事部門では、今年4回目を迎えた福岡縣護国神社での野外音楽イベント「福岡音楽祭音恵2019」を開催し好評を博しました。このほか、福岡市科学館で「ARトリックアート展」や鳥栖市民文化会館で「奇跡の人」などを開催しましたが、前年同期のような大型の催事がなく大幅な減収となり、利益面でも営業利益の確保にはいたりませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、451億80百万円と前連結会計年度末と比べ16億77百万円減少しました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が22億13百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、113億45百万円と前連結会計年度末と比べ13億93百万円減少しました。これは主に、支払等により未払費用が6億42百万円、支払手形及び買掛金が2億48百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、338億34百万円と前連結会計年度末と比べ2億84百万円減少しました。これは主に、保有する投資有価証券の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が2億75百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月20日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,276	9,902
受取手形及び売掛金	5,091	2,878
有価証券	30	60
たな卸資産	234	272
その他	2,433	2,968
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,064	16,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,404	6,327
機械装置及び運搬具（純額）	947	867
土地	13,320	13,320
その他（純額）	1,362	1,295
有形固定資産合計	22,034	21,810
無形固定資産	294	279
投資その他の資産		
投資有価証券	5,117	4,689
その他	2,347	2,321
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,463	7,009
固定資産合計	29,792	29,099
資産合計	46,857	45,180
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487	239
未払法人税等	338	111
その他	3,727	3,076
流動負債合計	4,553	3,427
固定負債		
退職給付に係る負債	4,997	4,901
その他	3,187	3,016
固定負債合計	8,185	7,918
負債合計	12,738	11,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	31,745	31,744
自己株式	△183	△183
株主資本合計	32,126	32,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	1,019
退職給付に係る調整累計額	△69	△62
その他の包括利益累計額合計	1,225	956
非支配株主持分	766	752
純資産合計	34,118	33,834
負債純資産合計	46,857	45,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,003	6,055
売上原価	3,707	3,687
売上総利益	2,295	2,368
販売費及び一般管理費	2,097	2,088
営業利益	197	279
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	65
その他	11	10
営業外収益合計	76	76
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	273	354
特別利益		
補助金収入	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	0	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	272	351
法人税等	119	165
四半期純利益	152	186
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	196

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	152	186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	△275
退職給付に係る調整額	9	5
その他の包括利益合計	140	△269
四半期包括利益	292	△83
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318	△72
非支配株主に係る四半期包括利益	△25	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,196	772	272	763	6,003	—	6,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	11	207	370	621	△621	—
計	4,227	784	479	1,134	6,625	△621	6,003
セグメント利益又は損失(△)	235	△144	287	22	401	△203	197

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去1百万円、当社における子会社からの収入71百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,265	1,142	265	382	6,055	—	6,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	16	216	379	640	△640	—
計	4,293	1,159	481	761	6,695	△640	6,055
セグメント利益又は損失(△)	303	△59	277	△9	512	△233	279

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△233百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△286百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,729	77.0	3,774	83.0	44	1.2
ラジオ収入	497	10.3	519	11.4	21	4.3
その他の収入	619	12.7	256	5.6	△362	△58.6
合計	4,846	100.0	4,549	100.0	△297	△6.1